



やわらぎ会通信 Vol.41

先月の台風の後、一気に涼しくなりましたね。体調を崩しやすい時です。健康管理にはご注意ください。来月には年賀状も発売となります。年賀状のデザインなどは決まりましたか？「え～もう？」って思っていないですか？今年もあと2ヶ月あまり、振り返るには少し早いような、でもやり残しのないように...



これからは口腔ケアの時代

やわらぎ会歯科診療所では、歯の咬み合わせについて今まで研究や治療を行ってきました。そういう観点からしても、やはり歯は見た目も大切ですが、食べることが本来の役割だと思えます。

最近、県立広島病院の先生の話を書く機会がありました。これからは厚生省などの指導で、県立広島病院は“急性期病院”に変わるそうです。つまり慢性的な病気(むし歯や歯周病)の治療は地元の開業医にまかせ、手術が必要な急性の病気や外傷などを対象とするようです。さらに入院の期間を今までよりも短縮して、2週間以内にするとのことでした。それには患者自身が自分の口から食べられる事、口腔内も清潔にでき、口の中のばい菌が原因で肺炎にならないようにすること、すなわち、歯科における口腔ケアの必要性が増してくるとのことでした。

私達は患者様すべてが、いつまでも自分の歯やお口で食べられるよう、口腔衛生や歯の治療でお役に立てるよう努めています。そして色々なご希望に応えられるよう、保険診療や自由診療に関わらず、治療メニューを充実させていきたいと考えています。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆
10/31午後から11/3までお遍路パート5に出かけてきます。その間私は診療をお休みさせていただきます。 藤田



自分の歯にあったサイズを選びましょう。

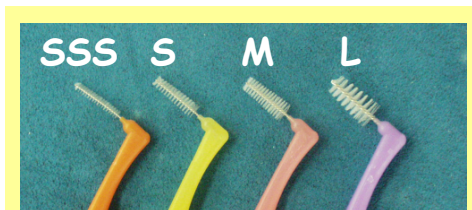
耳より
コーナー



歯間ブラシを使っている人、ご注意！

歯間ブラシにも色々なサイズがあります。それぞれのスペースに合ったものを選んでください。歯と歯の間が広い場合、細いブラシだと十分にお掃除が出来ません。逆に狭い場合、無理して使っていると歯の間が歯間ブラシの形に磨り減ってしまうこともあります。

ですからスペースの大きさに合ったサイズを使いましょう。もしかしたら2種類必要かも知れません。そしてポイントは毛先を歯の面に当てることです。ご自分のサイズが分からない時はスタッフに聞いてください。



奥歯にも使いやすいようにL字型のハンドルに変えました



アンニョンハセヨ！いまだきの韓流ブームではない(つもり)ですが、今年釜山に旅行したのをきっかけに、韓国語を勉強しています。韓国語は同じ漢字文化なのと、日本語と文法が似ているので親しみもあります。

勉強するにあたって、張り切ってノートやペンを買ったり、単語カードを作ったりして楽しんでいます。学校を卒業して〇年、勉強するというにとっても新鮮味を感じます。

ドラマや映画を見たときに、その言葉が一言でもわかったときにはとても嬉しいです。ハングル文字も大分読めるようになり、画面の中の文字も読めるようになりました。また、家族を相手に覚えたフレーズを使ってみたりと。この気持ちは、たぶん子供が「あいうえお」を覚えて読めるのが嬉しいのと一緒になんだろうと思います。それが学習の喜びなのでしょう。

いつかは吹き替えなしで、映画やドラマをみたいと思うのですが、そこまでたどり着くにはとても時間がかかりそうです。そして、次に韓国を訪れる時には自分の足で歩いてみたいです。



※同封していますレセプト(保険診療報酬の明細)のコピーは平成16年9月にお受けになられたものです。自由診療のみの方には同封されていません。また患者様からのご意見・ご投稿を受け付けています。手紙・はがき・メールどうぞ。メールアドレス yawaragi@fujita.gr.jp

平成16年 10月20日号
編集発行人 藤田 和也
編集者 山下 剛史